



「女性の活躍舞台づくり」シンポジウム

統一テーマ 「理工系女子のキャリア形成と進路指導」

- 日時：2015年6月15日（月）17:00～19:10
- 場所：日本工業倶楽部会館 2階 大会堂（裏面に地図） 定員 150名 **入場無料**
東京都千代田区丸の内1-4-6 電話 03-3281-1711（代表）

クラスの女性の半数以上が理工系科目が好きだったが、受験を目指す頃にはそれが10%ぐらいに激減し、特に工学系となるとごく少数になる。理工系女子の職業ビジョンやその重要性についての情報が中学高校には余りにも少なく、これは企業側の責任でもある。「なぜ女子高生は工学系を目指さないのか」、高校の進路指導の先生方を交えて、理工系女子のキャリア形成の過程について追跡し、徹底的に議論する。

- 総合司会 牛尾奈緒美委員、明治大学情報コミュニケーション学部教授
- 基調講演
 - 基調講演① 「女性技術者のエンパワメント」
佐々木則夫会長、(株)東芝取締役副会長・経団連副会長
 - 基調講演② 「イノベーションと理工系女子—男性企業人・技術者への期待—」
安西祐一郎副会長、日本学術振興会理事長・慶應義塾学事顧問（前塾長）
- パネル討論 「なぜ女子高生は工学系を目指さないのか」
 - モデレーター 國井秀子副会長・委員長
芝浦工業大学学長補佐兼男女共同参画推進室長兼大学院工学マネジメント研究科教授
 - パネリスト 佐々木則夫会長、安西祐一郎副会長
高際伊都子 学校法人渋谷教育学園 渋谷教育学園渋谷中学高等学校副校長
和田昭允 横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校常任スーパーアドバイザー
椎名智之 文京学院大学女子中学校高等学校SSH教育センター主任
守屋朋子副委員長 IT経営コンサルタント・前金沢工業大学大学院客員教授



牛尾奈緒美委員



佐々木則夫会長



安西祐一郎副会長



國井秀子副会長・委員長



高際伊都子氏



和田昭允氏



椎名智之氏



守屋朋子副委員長

●プログラム

- 16:30 開場
- 17:00~17:10 開会（担当：橋田忠明専務理事兼事務局長）
主催者挨拶 佐々木則夫会長
来賓挨拶 武川恵子内閣府男女共同参画局長
（総合司会：牛尾奈緒美委員、明治大学情報コミュニケーション学部教授）
- 17:10~17:40 基調講演① 「女性技術者のエンパワメント」
講師：佐々木則夫会長、(株)東芝取締役副会長・経団連副会長
- 17:40~18:10 基調講演② 「イノベーションと理工系女子ー男性企業人・技術者への期待ー」
講師：安西祐一郎副会長、日本学術振興会理事長・慶應義塾学事顧問（前塾長）
- 18:10~19:10 パネル討論
（モデレーター：國井秀子副会長・委員長、芝浦工業大学学長補佐兼男女共同参画推進室長兼大学院工学マネジメント研究科教授）
講師：佐々木則夫会長
講師：安西祐一郎副会長
講師：高際伊都子氏 学校法人渋谷教育学園 渋谷教育学園渋谷中学高等学校副校長
講師：和田昭允氏 横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校常任スーパーアドバイザー
講師：椎名智之氏、文京学院大学女子中学校高等学校SSH教育センター主任
講師：守屋朋子副委員長 IT 経営コンサルタント・前金沢工業大学大学院客員教授

●アクセス



日本工業倶楽部会館

JR 東京駅丸の内北口から徒歩 2 分
地下鉄丸ノ内線 東京駅下車
地下鉄東西線・千代田線・三田線・半蔵門線 大手町駅下車



<お申し込み>

下記項目にご記入の上、**6月12日(金)夕刻**までに、FAX: (03) 3274-6085 または E メール: (motoffice@mot.jp.com) でお申し込み下さい。

- 氏名： ●所属：
- 住所：
- 電話番号：() - ●Eメール：

一般社団法人日本 MOT 振興協会 〒104-0028 東京都中央区八重洲 2-11-6 川昌八重洲ビル 2F

第4回「女性の活躍舞台づくり」シンポジウム 講師の略歴

□統一テーマ 『理工系女子のキャリア形成と進路指導』

●日時：2015年6月15日（月） 17:00～19:10

●場所：日本工業倶楽部会館 2階 大会堂（東京都千代田区丸の内1-4-6）

1.総合司会 牛尾 奈緒美

明治大学情報コミュニケーション学部教授

同学部「ジェンダー・センター」副センター長

略歴

慶應義塾大学文学部卒業後、フジテレビジョンに入社。アナウンサーとしてニュースや情報番組のキャスターを務める。結婚退職後、専業主婦となるが、一念発起し、慶應義塾大学大学院に進学。MBA取得、出産を経て大学院博士課程を修了し、1998年公募で明治大学専任講師に採用される。2003年助教授、2009年より現職。専門は経営学、人的資源管理論で、働く女性の能力発揮の問題に取り組む。

公職として、内閣府「男女共同参画推進連携会議」有識者議員を務めるほか、JXホールディングス、セブン銀行監査役など一部上場企業数社のアドバイザー、テレビのニュース番組のコメンテーター、新聞、雑誌、講演等、多方面で活躍。一児の母。

近著に、『女性リーダーを組織で育てるしくみー先進企業に学ぶ継続就業・能力発揮の有効策』（中央経済社）、『ラーニング・リーダーシップ入門ーダイバーシティで人と組織を伸ばす』（日経新聞出版社）、『女性の働きかた』（ミネルヴァ書房）がある。

2.基調講演① 『女性技術者のエンパワメント』

講師 佐々木 則夫

当協会会長、株式会社東芝取締役副会長、経団連副会長

略歴

早稲田大学理工学部機械工学科卒業後、株式会社東芝に入社。2003年原子力事業部長。2005年執行役常務（電力・社会システム社副社長、原子力事業部長）。2006年執行役常務（社会システム社社長）。2007年執行役専務（社会インフラ事業Gr分担）。2008年取締役、代表執行役副社長（社長補佐、社会インフラ事業グ

ループ分担、イノベーション推進本部長、輸出管理 Gr 担当)、2009 年取締役、代表執行役社長に就任。2013 年より現職。

主な社外役職として、日本経済団体連合会副会長、経済産業省産業構造審議会通商貿易分科会、情報通信ネットワーク産業協会会長、産業競争力会議構成員など。

基調講演② 『イノベーションと理工系女子—男性企業人・技術者への期待—』

講師 安西 祐一郎

当協会副会長、日本学術振興会理事長、慶應義塾大学学事顧問（前塾長）

略歴

1974 年慶應義塾大学大学院博士課程修了。カーネギーメロン大学客員助教授、北海道大学文学部助教授、慶應義塾大学理工学部教授を経て、93 年～2001 年同理工学部長、2001～2009 年慶應義塾長。現在、独立行政法人日本学術振興会理事長。文部科学省顧問、日本ユネスコ国内委員会会長等を務める。

日本私立大学連盟会長、環太平洋大学協会会長、情報処理学会会長、日本認知科学会会長等を歴任。

著書『心と脳』（岩波新書）、『「デジタル脳」が日本を救う』（講談社）、『教育が日本をひらく』（慶應義塾大学出版会）、『認識と学習』（岩波書店）、『問題解決の心理学』（中央新書）ほか多数。

専攻は認知科学、情報科学。

3. パネル討論

モデレーター 國井 秀子

当協会副会長・委員長、芝浦工業大学学長補佐兼男女共同参画推進室長兼大学院工学マネジメント研究科教授

略歴

お茶の水女子大学大学院理学研究科物理専攻修士号取得後、米国にて修士号及び Ph. D. 取得。

株式会社リコーのソフトウェア分野の研究開発責任者及び常務執行役員を経て、2013 年 3 月までリコー IT ソリューションズ株式会社取締役会長。2013 年 4 月より現職。また、一般社団法人情報サービス産業協会副会長、内閣府男女共同参画推進連携会議議員、文部科学省科学技術・学術審議会臨時委員、日本学術会議連携会員、株式会社産業革新機構産業革新委員、本田技研工業株式会社取締役、東京電力株式会社取締役などを務める。

パネリスト 高際 伊都子

学校法人渋谷教育学園 渋谷教育学園渋谷中学高等学校副校長

略歴

慶應義塾大学理工学部数理科学科卒業。1989年東洋英和女学院中学部高等部勤務。1996年渋谷教育学園渋谷中学高等学校勤務、1997年より現職。

学校法人渋谷教育学園評議員、学校法人青葉学園評議員。

また、文部科学省 学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議協力者、公益財団法人パナソニック教育財団「こころを育む総合フォーラム」企画運営委員、公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター評議員などを務める。

パネリスト 和田昭允

横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校常任スーパーアドバイザー

略歴

東京大学理工学化学科卒業。東京大学理学部化学科助手。ハーバード大学博士研究員。東京大学理学部物理学科助教授、東京大学理学部物理学科教授、東京大学理学部長を歴任。日本生物物理学会会長、国際純粋応用生物物理学連盟（IUPAB）理事、日本学術会議会員、日本学術会議第4部長、相模中央化学研究所理事、理化学研究所ゲノム科学総合研究センター所長を務める。

現職として、理化学研究所研究顧問、横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校常任スーパーアドバイザー、順正学園理事相談役、グルー・バンクロフト基金評議員、ロッテ財団評議員、かずさDNA研究所評議員、新世代研究所最高顧問。

著書『物理学は越境するーゲノムへの道』（岩波書店）、『生体高分子』（岩波書店）、D. E. リリエンスール著、和田小六、和田昭允訳『TVAー総合開発の歴史の実験』（岩波書店）、『生命とは？物質か！ーサイエンスを知れば百考して危うからず』（オーム社）、『理系にあって、文系にない「シンプル思考法」』（三笠書房）、その他論文多数。

パネリスト 椎名智之

文京学院大学女子中学校高等学校 SSH 教育センター主任

略歴

東京都文京区にある中学・高校6カ年一貫校である文京学院大学女子中学高等学校に勤務、担当教科は、理科・情報。昨年までは高等学校の理系進学者の指導を担当する理数クラス担任として多数のリケジョを輩出してきた。今年度からは、Global Studies・Advanced Science・Sports Scienceの3コース制を実現した文京学院大学女子中学校のサイエンスコースに組み込んだ理系プログラム企画・推進役である中学科学教育推進リーダーとして中学に在籍を移し、6カ年に渡る理系女子育成に取り組み始めている。本教育活動はSSH教育センターの

前身である文京学院大学女子高等学校科学教育センターから引き続き行われているもので、理数クラス担任として、SSH指定校の採択を受ける前から、独立行政法人科学技術振興機構（JST）によるサイエンス・パートナーシップ・プロジェクトの支援を受けた教育活動を展開し、高大教育連携協定の締結とその後の教育活動を推進、理系大学進学希望を持つ女子生徒たちの教育指導を行っている。文京学院は昨年度末に芝浦工業大学と教育連携協定締結した。研究経歴として、2010年度 SPP（サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト）独立行政法人科学技術振興機構採択 AG091346 独自報告書『ミステリークレイフィッシュに学ぶ生物学』。2011年度 SPP（サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト）独立行政法人科学技術振興機構採択 AG101402 独自報告書『ミステリークレイフィッシュに学ぶ生物学②』。日本工学教育協会 研究講演会共同研究：里山教育を通しての学習が自己形成に及ぼす効果—住民との交流、里山文化歴史環境の学びと自己形成習プログラム—がある。他の活動歴として、東京都ソフトテニス連盟常任理事。東京都高等学校体育連盟女子ソフトテニス専門部常任理事。東京都私学協会ソフトテニス大会運営委員。全国私学ソフトテニス大会運営委員を務める。

パネリスト 守屋朋子

当協会副委員長、IT 経営コンサルタント、前金沢工業大学大学院客員教授

略歴

お茶の水女子大学理学部数学科卒。日本専売公社、(株)日本ソフトウェアを経て、(株)富士通ソーシャルサイエンスラボラトリーへ。システムアプリケーションから人工知能まで幅広く研究開発に従事。1990年先行システム開発部長、1993年事業部長、1998年から2005年まで取締役兼システムインテグレーション事業部長などの研究開発責任者。

2007年から2011年まで(株)FUJITSU ユニバーシティのエグゼクティブアドバイザーとして、富士通株式会社のダイバーシティ推進を支援。

2006年から2014年まで金沢工業大学大学院工学研究科知的創造システム専攻の客員教授として、「ユビキタスを支える技術」、「IT コンピューティング特論」、「業務アプリケーション特論」を担当。

1972年から現在まで情報処理学会会員。

文部科学省科学技術・学術審議会専門委員（情報処理）、独立行政法人科学技術振興協会産学共同実用化開発事業評価委員会専門委員、独立行政法人科学技術振興協会情報通信分野評価委員、独立行政法人情報処理振興協会「女性活性化」委員会委員長などを歴任。

1998年から現在まで日本女性技術者フォーラム会員、2002年から2年間、運営委員長。

日本 MOT 振興協会「女性の活躍舞台づくり」委員会委員。

「日本の科学技術第3巻」（原書房）第6部～9、「女性技術者とダイバーシティ」共著担当。